

Canon フラットベッドスキャナ用ソフトウェア

# ScanGear Toolbox

スキャンギア ツールボックス

for Windows

## ユーザーズガイド



# 目次

ScanGear Toolboxについて .....	4
ScanGear Toolboxのインストール.....	5
ScanGear Toolbox が動作する環境.....	5
インストール / アンインストール(削除).....	5
ScanGear Toolboxの使用 .....	9
スキャナのスタートボタンからの起動.....	9
マニュアルでの起動 .....	14
終了 .....	17
各機能を使うための設定.....	18
リンクできるドライバとアプリケーション .....	18
各タブでの設定 .....	20
簡易スキャン .....	31
簡易スキャンとは? .....	31
簡易スキャンの指定 .....	31
簡易スキャンでの設定 .....	31
簡易スキャンの実行 .....	32
ワンタッチスキャン .....	33
スキャナのスタートボタンを設定するには.....	35

付録 .....	37
ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧 .....	37
ScanGear Toolbox FAU の設定項目 / 内容の一覧 .....	39
コピーレイアウト .....	40
索引 .....	42

## 画面例について

本マニュアルでの画面例は、Windows 98 のものを使用しています。その他の Windows をご利用の場合、本マニュアルでの画面例と異なる表示がされることがあります。

## 商標について

Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアルに記載されている記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# ScanGear Toolboxについて

ScanGear Toolboxは、TWAIN対応のアプリケーションなどを起動することなく、スキャナを利用して、簡単にファックス送信や、プリンタへの出力などができるユーティリティソフトです。

また、ScanGear Toolbox にアプリケーションソフトをリンクすることで、画像のスキャン、アプリケーションソフトの起動、そのアプリケーションへの画像の引き渡しを、一度のクリック操作で行うこともできます。

ScanGear Toolbox は、スキャナ前面のスタートボタン（または原稿台カバー上部のフィルムスキャンボタン）を押すだけで起動できます。

ScanGear Toolbox は、写真や文書のスキャンのための ScanGear Toolbox CS と、フィルムのスキャンのための ScanGear Toolbox FAU の 2 つから構成されています。

# ScanGear Toolboxのインストール

## ScanGear Toolbox が動作する環境

対応 OS : Windows 98、Windows 2000 Professional

## インストール/アンインストール(削除)

ここでは、スキャナに付属のキヤノスキャンセットアップ CD-ROM を使ったインストール方法を説明します。

ダウンロードサービスで入手された ScanGear Toolbox のインストール方法については、ダウンロードサービスの説明をご覧ください。

Windows 2000 Professional でのインストール、アンインストールは、必ず Administrator でログオンして行ってください。

ScanGear Toolbox をインストールする前に、TWAIN ドライバとプリンタのドライバをインストールすることを推奨します。

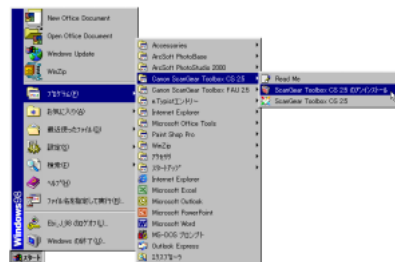
## インストール

スキャナに付属の「スタートガイド」にしたがって、すでに ScanGear Toolbox CS と ScanGear Toolbox FAU をインストールしてある場合は、以下の手順は必要ありません。

1. スキャナに付属している「キヤノスキャンセットアップ CD-ROM」を CD-ROM ドライブに入れます。
2. CD-ROM のメインメニューで、[ソフトウェアのインストール] をクリックします。
3. [ソフトウェアのインストール]画面の[ScanGear Toolbox CS]と[ScanGear Toolbox FAU]のチェックボックスがチェックされていることを確認します。チェックされていない場合は、クリックしてチェックします。
4. [インストールを開始する]をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。インストールが実行されます。インストールが完了すると、ScanGear Toolbox CS と ScanGear Toolbox FAU が Windows の [スタート] メニューに追加されます。

## アンインストール(削除)

スタートメニューからのアンインストール  
Windows の[スタート] [プログラム] [Canon  
ScanGear Toolbox CS 2.5] (または Canon  
ScanGear Toolbox FAU 2.5) で[ScanGear  
Toolbox CS 2.5 のアンインストール](または  
ScanGear Toolbox FAU 2.5のアンインストー  
ル) をクリックして削除できます。



アプリケーションの追加と削除のプロパティを使うアンインストール

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックし、コントロールパネルを開きます。
2. [アプリケーションの追加と削除] を選択します。

3. [Canon ScanGear Toolbox CS 2.5] または [Canon ScanGear Toolbox FAU 2.5] を選択し、**追加と削除** ボタン (Windows 98 の場合) または **変更 / 削除** ボタン (Windows 2000 の場合) をクリックします。  
その後、表示されるメッセージにしたがって操作してください。



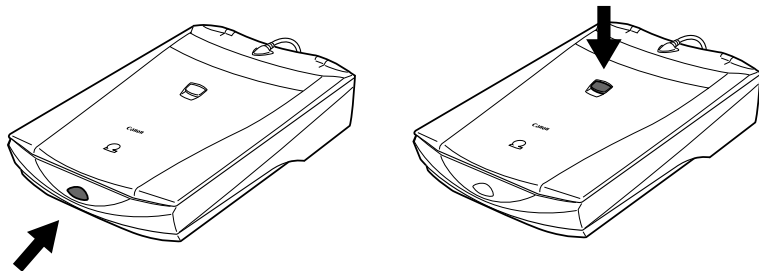
ScanGear Toolbox CS と ScanGear Toolbox FAU を同時にアンインストールすることはできません。別々に行ってください。



# ScanGear Toolboxの使用

## スキャナのスタートボタンからの起動

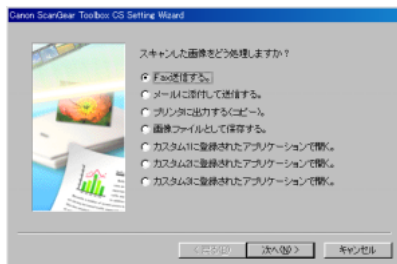
スキャナ前面のスタートボタンを押すと、パソコン側でScanGear Toolbox CSが起動します。また、原稿台カバー上部のフィルムスキャンボタンを押すと、ScanGear Toolbox FAUが起動します。



CanoScanセットアップCD-ROMによるインストール直後の初期状態では、設定ウィザード選択画面が表示されます。

## 設定ウィザードを使ったスキャン

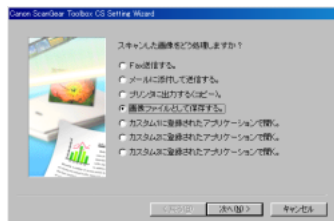
スタートボタン（スキャナ前面のもの、原稿台カバー上部のもの whichever）を押すと、初期状態では設定ウィザード機能選択ダイアログが表示されます。



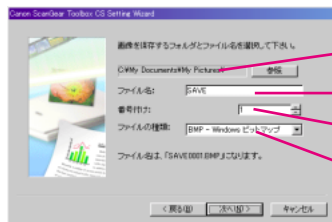
設定ウィザード機能選択ダイアログで、使用する機能を選択すると、いくつかの設定ダイアログが表示されます。ウィザードの最後の設定ダイアログで「次へ」をクリックすると、その機能が実行されます。

設定ウィザードの使用例（「画像ファイルとして保存する」の場合）

1. 設定ウィザード機能選択ダイアログで、「画像ファイルとして保存する」を選びます。



2. 保存先の画像ファイルについて設定します。



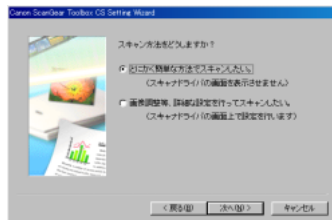
ファイルが納められるフォルダ名を指定します。

元になるファイル名を指定します。

番号付けの指定をします。

ファイル形式を指定します。

3. スキャン方法(「とにかく簡単な方法でスキャンしたい」か「画像調整など、詳細な設定を行ってスキャンしたい」)を指定します。



- ステップ3で「とにかく簡単な方法で・・・」を選んだ場合  
4. 画像タイプや解像度などを設定します。



5. スキャンが開始され、進行状況ダイアログが表示されます。スキャンが終了すると、スキャンされた画像はファイルとして保存されます。

- ステップ3で「画像調整など、詳細な設定を行って・・・」を選んだ場合
4. TWAINドライバが表示されます。スキャンに関する設定を行い、原稿をプレビューして、イメージを調整して、スキャンします。スキャンされた画像はファイルとして保存されます。



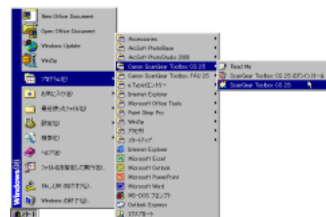
2 度目以降、同じ設定で ScanGear Toolbox を使用したいときは、ツールバーを使用すると便利です ( P.14, 15 )。「とにかく簡単な方法で・・・」を選んで設定した項目は、ツールバーの設定タブ ( P. 20 ) の「簡易スキャンの設定」にも反映されています。

スキャナのスタートボタンが押されたときにツールバーを表示させる設定は、 P.33 を参照してください。

## マニュアルでの起動

Windows の[スタート] [プログラム] [Canon ScanGear Toolbox CS 2.5] で[ScanGear Toolbox CS 2.5](または[スタート] [プログラム] [Canon ScanGear Toolbox FAU 2.5] で [ScanGear Toolbox FAU 2.5]) をクリックします。

ScanGear Toolbox のツールバーが表示されます。



### ScanGear Toolbox CS のツールバー

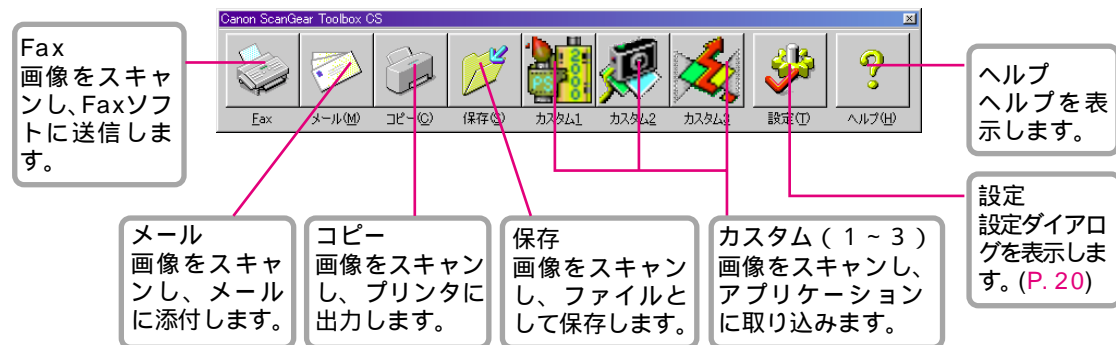


### ScanGear Toolbox FAU のツールバー



## ScanGear Toolbox ツールバーの機能

ツールバーの各ボタンをクリックすると、その機能が使用できます。



上記のようにボタンが表示され、各機能を使うには、次の条件が必要です。

**F a x :** Fax モデムが接続され、Fax ソフトがインストールされていること。

**メール :** MAPI ( P.18 ) 対応のメールソフトがインストールされていること。




**コピー :** プリンタが接続され、適切なドライバがインストールされていること。

**カスタム ( 1 ~ 3 ) :** キヤノスキャンセットアップ CD-ROM で、すべてのアプリケーションをインストールした場合、バンドルされているアプリケーションが登録されます。ScanGear Toolbox FAUではe.Typistエントリーは登録されません。

ScanGear Toolbox FAU では、Fax とメールの機能はありません。

ツールバーの大きさの設定は、環境設定タブ ( P.26, 30 ) で行います。

## ショートカットボタンの利用

ScanGear Toolbox が起動すると、画面右下の時刻表示の側に ScanGear Toolbox CSのショートカットボタン 17:30 (またはScanGear Toolbox FAUのショートカットボタン 17:30、またはその両方 17:30)が表示されます。

(1)マウスの左ボタンのクリックによるもの

画面右下のショートカットボタンを左クリックして、ポップアップメニューから使いたい機能を選択して、ScanGear Toolbox を使用することができます。

(2)マウスの左ボタンのダブルクリックによるもの

ショートカットボタンで左ボタンをダブルクリックすると、ScanGear Toolbox ツールバーが表示されます。

(3)マウスの右ボタンのクリックによるもの

ショートカットボタンを右クリックすると、次のポップアップメニューが表示されます。



設定タブを表示します。


スキャナのスタートボタンで、どの機能が起動されるかの設定を行います。( P.33)

ScanGear Toolbox のバージョンを表示します。

ScanGear Toolbox を終了させます。





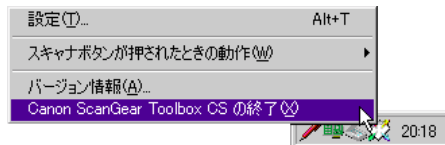
## 終了

ScanGear Toolbox ツールバーを消すには  
ScanGear Toolbox ツールバー右上のクローズボックス(  )をクリックします。ツールバーが消えます。

この状態では、ScanGear Toolbox は終了していません。

### ScanGear Toolbox を終了させるには

画面右下の時計表示の左側にある、ScanGear Toolbox のショートカットアイコン(  17:30 または  17:30 )を右クリックしてポップアップメニューを表示させ、[Canon ScanGear Toolbox CS の終了]([ScanGear Toolbox FAU の終了])を選びます。ScanGear Toolbox が終了します。このとき、ツールバーが表示されていれば、ツールバーの表示も消えます。



# 各機能を使うための設定

## リンクできるドライバとアプリケーション

ファックス送信、コピー、メール送信の各機能を使用するには、ドライバやアプリケーションがリンクされていないはいけません。また、カスタム1～カスタム3のそれぞれに、画像アプリケーションソフトをリンクすることができます。リンクする方法は、P. 20 以降を参照してください。

### Fax 送信 (ScanGear Toolbox CS のみ)

Fax 送信では、Microsoft Outlook 98、Microsoft Outlook 2000、その他の市販のファックスソフトをリンクできます。

### メール送信 (ScanGear Toolbox CS のみ)

ScanGear Toolboxにリンクするメールアプリケーションは、MAPI 対応でなければなりません。Microsoft Outlook、Microsoft Exchange、その他の市販のメールソフトをリンクできます。

MAPI とは Messaging Application Programming Interface の略で、電子メールアプリケーションの業界標準です。

## コピー

コピーではプリンタドライバをリンクできます。[スタート]-[設定]-[プリンタ]で参照できるもののことです。

使用しているコンピュータに2台以上のプリンタが接続されているときなどは、切り替えて使用することができます。ローカルプリンタ、ネットワークプリンタのいずれも使用できます。

## カスタム 1 ~ 3

TWAIN 対応のアプリケーションソフトをリンクできます。これにより、画像のスキャン、アプリケーションソフトの起動、そのアプリケーションへの取り込み画像の引き渡しを、一度のクリック操作で行うことができるようになります。

通常、キヤノスキャンセットアップCD-ROMですべてのアプリケーションソフトをインストールした場合、カスタム 1 ~ 3 には、CD-ROM 中のアプリケーションソフトが登録されます。

各機能に引き渡せる画像は、カラー 24 ビット、グレースケール 8 ビット、白黒 1 ビットのみです。カラー 36 ビット / 42 ビット、グレースケール 12 ビット / 14 ビットには対応していません。

## 各タブでの設定

ScanGear Toolbox ツールバーの設定ボタンをクリックすると、ScanGear CS/FAUの設定ダイアログが開きます。ここでは、各機能の設定タブがあり、ドライバ、アプリケーションを設定して、ScanGear Toolbox で使用できるようにします。また、簡易スキャン(P.31)がONの場合に有効になるスキャンについての設定も個々に行います。

ScanGear Toolbox CS と ScanGear Toolbox FAU では、タブの種類、各タブでの設定項目の内容は異なります。



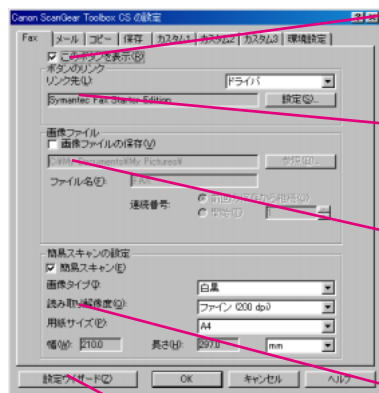
ScanGear Toolbox ツールバー



設定タブ

## ScanGear Toolbox CS の設定タブ

### Fax 送信の設定タブ (ScanGear Toolbox CS)



このボタンを表示

このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先

使用するドライバを登録しておきます。[システムデフォルト]が選択されているときは、「通常使うプリンタに設定」されているドライバに出力されます。

画像ファイルの保存

スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)を設定します。

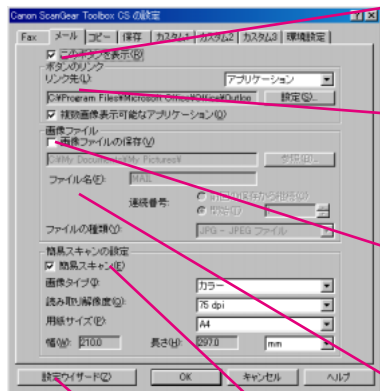
簡易スキャンの設定

簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧(P.37)」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

設定ウィザード開始ボタン

このボタンをクリックすると、Fax 送信についての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## メール送信の設定タブ (ScanGear Toolbox CS)



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するメールアプリケーションを登録しておきます。リンク先の選択は、必ず「システムデフォルト」とします。MAPI対応のメールアプリケーション(システムに1つだけ存在するもの)に自動的にリンクされます。

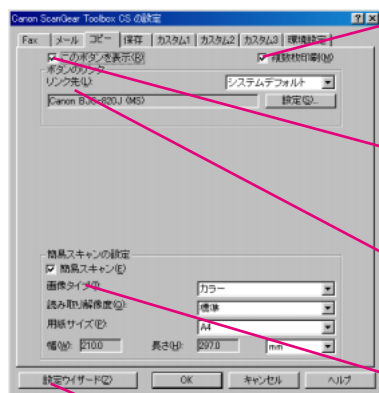
複数画像表示可能なアプリケーション  
設定したアプリケーションが複数の画像を開くことができる場合は、このチェックボックスをチェックします。ADFを使用しているとき、複数の画像を一括してアプリケーションで開きます。ADFを使用していないときは、無効です。

画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)、ファイルの種類も設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧(P.37)」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

設定ウィザード開始ボタン  
このボタンをクリックすると、メール送信についての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## コピーの設定タブ (ScanGear Toolbox CS)



### 複数枚印刷

このチェックボックスをチェックすると、コピーの実行時にコピー枚数が指定できるようになります。ここがチェックされていると、コピー開始時にコピー枚数設定ダイアログが表示されますので、枚数を指定してください。

### このボタンを表示

このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

### リンク先

使用するプリンタドライバを登録しておきます。[システムデフォルト]が選択されているときは、「通常使うプリンタに設定」されているドライバに出力されます。

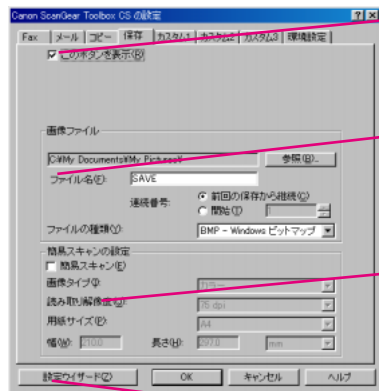
### 簡易スキャンの設定

簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定（画像タイプ、読み取り解像度、用紙（原稿）サイズ）を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します（「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧 (P.38)」を参照してください）。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

### 設定ウィザード開始ボタン

このボタンをクリックすると、コピーについての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## 保存の設定タブ (ScanGear Toolbox CS)



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

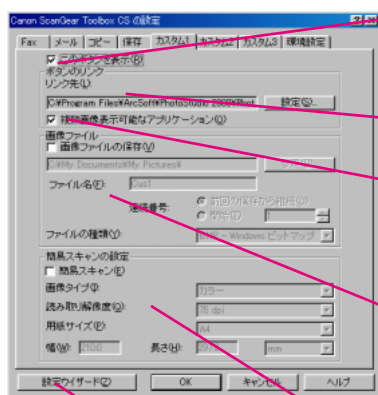
画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージの保存方法(ファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)、ファイルの種類)を設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧(P.38)」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

設定ウィザード開始ボタン  
このボタンをクリックすると、保存についての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。



## カスタム 1 ~ 3 の設定タブ (ScanGear Toolbox CS)



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するアプリケーションを登録しておきます。

複数画像表示可能なアプリケーション  
設定したアプリケーションが複数の画像を開くことができる場合は、このチェックボックスをチェックします。ADFを使用しているとき、複数の画像を一括してアプリケーションで開きます。ADFを使用していないときは、無効です。

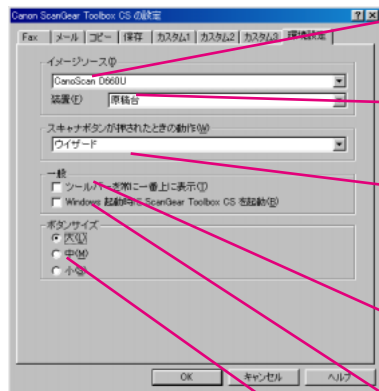
画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)を設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度、用紙(原稿)サイズ)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧(P.38)」を参照してください)。なお、用紙サイズはカスタム設定も行えます。

設定ウィザード開始ボタン  
このボタンをクリックすると、そのアプリケーションについての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

OCR アプリケーションを登録しておくときに、そのアプリケーションがカラーデータをサポートしていないときは、「簡易スキャンの設定」の「画像タイプ」を「白黒」に設定します。

## 環境設定タブ(ScanGear Toolbox CS)



### イメージソース

複数のスキャナを使い分けしているような場合、使用するスキャナの種類を選択します。

### 装置

スキャナにオプションの自動原稿送り装置(ADF)が取り付けられているとき、使用する装置を選択します。

### スキャナボタンが押されたときの動作

スキャナ前面のスタートボタンでの起動項目を次から設定します。

ツールバーの表示 / ウイザード / ファックス / メール / コピー / 保存 / カスタム 1 ( / 2 / 3 )(P.33)

### ツールバーを一番上に表示する

ScanGear Toolbox CS ツールバーを一番手前に表示するかどうかを設定します。

### Windows 起動時に ScanGear ToolboxCS を起動

Windows 起動時に ScanGear Toolbox CS を起動するかどうかを設定します。

### ボタンサイズ

ScanGear Toolbox ツールバーに表示されるボタンのサイズ(大、中または小)を設定します。

## ScanGear Toolbox FAU の設定タブ

### コピーの設定タブ (ScanGear Toolbox FAU)



#### 複数枚印刷

このチェックボックスをチェックすると、コピーの実行時にコピー枚数が指定できるようになります。ここがチェックされていると、コピー開始時にコピー枚数設定ダイアログが表示されますので、枚数を指定してください。

#### このボタンを表示

このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

#### リンク先

使用するプリンタドライバを登録しておきます。[システムデフォルト]が選択されているときは、「通常使うプリンタに設定」されているドライバに出力されます。

#### コピーレイアウト(P.40)

用紙サイズ、印刷されるイメージの大きさ(印刷サイズ)、1枚の用紙にいくつのイメージを並べて印刷するか(レイアウト)を指定します。通常は簡易スキャンをオンにして設定してください。

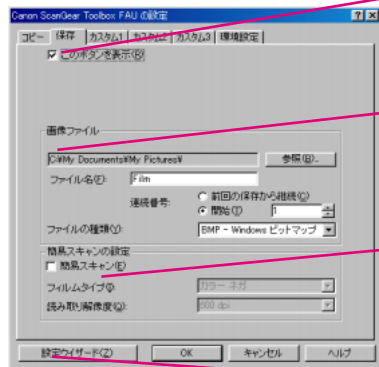
#### 簡易スキャンの設定

簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox FAU の設定項目 / 内容の一覧(P.39)」を参照してください)。

#### 設定ウィザード開始ボタン

このボタンをクリックすると、コピーについての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## 保存の設定タブ (ScanGear Toolbox FAU)



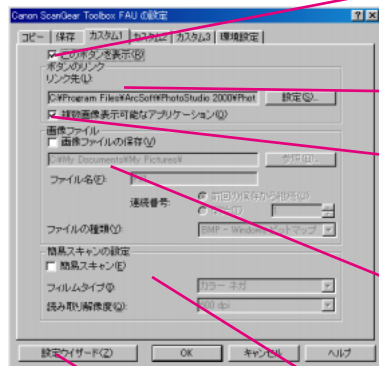
このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージの保存方法(ファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)、ファイルの種類)を設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox FAU の設定項目 / 内容の一覧(P.39)」を参照してください)。

設定ウィザード開始ボタン  
このボタンをクリックすると、保存についての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## カスタム 1 ~ 3 の設定タブ (ScanGear Toolbox FAU)



このボタンを表示  
このチェックボックスをチェックすると、ScanGear Toolbox ツールバーに機能のボタンが表示され、その機能が使用できるようになります。

リンク先  
使用するアプリケーションを登録しておきます。

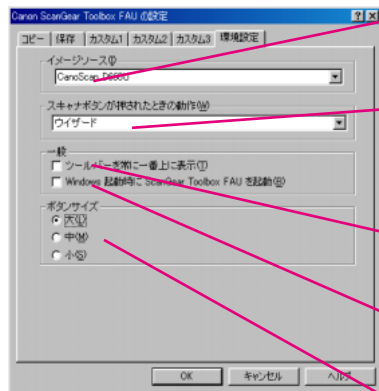
複数画像表示可能なアプリケーション  
設定したアプリケーションが複数の画像を開くことができる場合は、このチェックボックスをチェックします。ADFを使用しているとき、複数の画像を一括してアプリケーションで開きます。ADFを使用していないときは、無効です。

画像ファイルの保存  
スキャンによって得られたイメージをファイルにも保存しておくかどうかを設定します。チェックボックスをチェックして、保存に設定すると、そのファイルを保存しておくフォルダ、ファイル名の付け方(元になる名前とその後ろに付ける番号の振り方)を設定します。

簡易スキャンの設定  
簡易スキャンのオン/オフと、簡易スキャンがオンの場合に有効な設定(画像タイプ、読み取り解像度)を、あらかじめ登録されたものから選択して設定します(「ScanGear Toolbox FAUの設定項目 / 内容の一覧(P.39)」を参照してください)。

設定ウィザード開始ボタン  
このボタンをクリックすると、そのアプリケーションについての設定ウィザードが開始されます。設定ウィザードが終了すると、この設定タブに戻ります。

## 環境設定タブ(ScanGear Toolbox FAU)



イメージソース  
複数のスキャナを使い分けしているような場合、使用するスキャナの種類を選択します。

スキャナボタンが押されたときの動作  
原稿台上部のフィルムスキャンボタンでの起動項目を次から設定します。

ツールバーの表示 / ウィザード / コピー / 保存 /  
カスタム 1 ( / 2 / 3 )(P.33)

ツールバーを一番上に表示する  
ScanGear Toolbox FAUツールバーを一番手前に表示するかどうかを設定します。

Windows 起動時に ScanGear Toolbox FAU を起動  
Windows 起動時に ScanGear Toolbox FAU を起動するかどうかを設定します。

ボタンサイズ  
ScanGear Toolbox ツールバーに表示されるボタンのサイズ(大、中または小)を設定します。

# 簡易スキャン

## 簡易スキャンとは？

「簡易スキャン」とは、TWAINドライバを表示させることなく、すぐにスキャンし目的の機能に画像を引き渡す機能です。

## 簡易スキャンの指定

ツールバーまたはショートカットボタンから「設定」を選択し、目的の機能の設定タブを表示させます。「簡易スキャン」のチェックボックスをクリックして、オンにします。設定タブによっては、初期設定でオンになっているものもあります。

## 簡易スキャンでの設定

簡易スキャンがオンのとき、画像タイプ(フィルムタイプ)や読み取り解像度などの設定ができます。あらかじめ、これらの設定を行ってからスキャンしてください。

## 簡易スキャンの実行

1. ツールバーの目的のボタンをクリックします(またはショートカットボタンのポップアップメニューから、使用する機能を選択します)。スキャンが開始され進行状況ダイアログが表示されます。



### 進行状況ダイアログ

スキャンの進行状況が表示されます。[キャンセル]をクリックすると、スキャンを中止し、機能の実行を取り消します。

[設定変更]をクリックすると、スキャンを中止し、設定ダイアログを表示します。

中止したスキャンデータは保存されません。

2. スキャンされた画像が、目的の機能に引き渡されます。



# ワンタッチスキャン

ScanGear Toolbox を使用するとき、通常は設定ウィザードで各種の設定をしたり、ツールバーを表示させてボタンをクリックする作業が必要です。

次の設定を行うことで、スキャナのスタートボタンを押すだけでスキャンが始まり、目的の機能に画像データを引き渡す、「ワンタッチスキャン」を実現することができます。

1. ショートカットボタンの右クリックで表示されるポップアップメニュー、または、環境設定タブでの「スキャナボタンが押されたときの動作」で、スキャナのスタートボタンで、どの機能が起動されるかの設定を行います。  
ここでは、「カスタム1」(PhotoStudio 2000 の場合) を例に上げます。



2. もう一度ショートカットボタンの右クリックで表示されるポップアップメニューから「設定」を選ぶか、または、ツールバーから「設定」をクリックして、設定ダイアログを表示させます。実行させたい機能の設定タブ(カスタム1)を選び、「簡易スキャン」をオンにし、画像タイプ(フィルムタイプ)や読み取り解像度などを設定します。(P. 31)
3. OK ボタンをクリックします。

スキャナのスタートボタンを押します。すぐにスキャンが開始、実行され、スキャンされた画像が選択された機能、例ではカスタム1のPhotoStudio 2000の画面に表示されます。

ステップ1の「スキャナが押されたときの動作」で、「ツールバーの表示」を選ぶと、スキャナのスタートボタンを押したときに、ScanGear Toolboxのツールバーが表示されるようになります。

## スキャナのスタートボタンを設定するには

ここでの説明は、スタートボタン付きのスキャナを、Windows 98 および Windows 2000 Professional で使用している場合にだけ有効です。

Windows に WDM/STI 対応の TWAIN ドライバをインストールすると、[コントロールパネル] に [スキャナとカメラ] のアイコンが表示されます (Windows 2000 Professional ではいつも表示されています)。

このアイコンで、スタートボタンで即座に起動するアプリケーションを設定します。キャノンスキャンセットアップ CD-ROM から ScanGear Toolbox CS/FAU をインストールした場合、これらがスキャナのボタンに対応して起動するアプリケーションとして設定されています。次の操作で、ScanGear Toolbox 以外のアプリケーションを指定することができます。

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[スキャナとカメラ]を開きます。
2. [デバイス]タブの一覧から使用するキャノンスキャナを選び、[プロパティ]をクリックします。



スキャナとカメラ

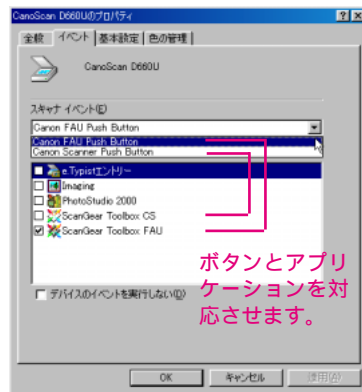
3. [イベント]タブを開きます。

4. [スキャナイベント]で[Canon Scanner Push Button](スキャナ前面のスタートボタン)を選び、[次のアプリケーションに送る]で、ScanGear Toolbox CSだけにチェックが付いていることを確認します。

また、[スキャナイベント]で[Canon FAU Push Button](原稿台カバー上部のフィルムスキャンボタン)を選び、[次のアプリケーションに送る]で、ScanGear Toolbox FAUだけにチェックが付いていることを確認します。

ScanGear Toolbox 以外のアプリケーションを設定する場合は、Push Buttonの種類を選び、アプリケーションを選んで、「適用」または「OK」をクリックします。

5. プロパティのダイアログで[OK]をクリックし、コントロールパネルを閉じます。



# 付録

## ScanGear Toolbox CS の設定項目 / 内容の一覧

	ファックス	メール
画質 (解像度)	標準 100 dpi ファイン 200 dpi	75 / 100 / 150 / 180 / 200 / 300 / 360 / 400 / 600 / 720 / 1200 dpi
画像の種類	カラー グレースケール 白黒	24 ビット 8 ビット 1 ビット スレッシュホールド 128
用紙サイズ	A4 / B5 / レター	A4 / A5縦 / A5横 / B5 / レター / エグゼクティブ / ステートメント縦 / ステートメント横 / 名刺 / カスタム
出力ファイル形式		Windows ビットマップ (*.bmp) JPEG ファイル(*.jpg) PC ペイントブラシ (*.pcx) PNGファイル (*.png) TIFFファイル (*.tif)
スキャン範囲の単位	ミリ / インチ	ミリ / インチ / ピクセル

	コピー	保存 / カスタム 1 ~ 3
画質 (解像度)	ドラフト(カラー75、白黒・グレースケール150) / 標準(同150、300) / 高画質(同300、600) / 超高画質(同600、1200) dpi	75 / 100 / 150 / 180 / 200 / 300 / 360 / 400 / 600 / 720 / 1200 dpi
画像の種類	カラー グレースケール 白黒	24 ビット 8 ビット 1 ビット スレッシュホールド 128
用紙サイズ	A4 / A5縦 / A5横 / B5 / レター / エグゼクティブ / ステートメント縦 / ステートメント横 / 名刺 / カスタム	
出力ファイル形式	Windows ビットマップ (*.bmp) JPEG ファイル(*.jpg) PC ペイントブラシ (*.pcx) PNGファイル (*.png) TIFFファイル (*.tif)	
スキャン範囲の単位	ミリ / インチ	ミリ / インチ / ピクセル

## ScanGear Toolbox FAU の設定項目 / 内容の一覧

	コピー	保存 / カスタム 1 ~ 3
画質 (解像度)	ドラフト(印刷解像度75相当) 標準(印刷解像度150相当) 高画質(印刷解像度同300相当) 超高画質(印刷解像度600相当) dpi	150 / 300 / 600 / 720 / 1200 dpi
画像タイプ	カラー ポジ / カラー ネガ 白黒 ポジ / 白黒ネガ	24 ビットカラー 8 ビットグレースケール
出力ファイル形式		Windows ビットマップ (*.bmp) JPEG ファイル(*.jpg) PC ペイントブラシ (*.pcx) PNGファイル (*.png) TIFFファイル (*.tif)

コピーでの読み取り解像度は、印刷時の解像度が上記のものになるように、プリンタの出力解像度、コピーレイアウトでの印刷サイズの設定に応じて、自動的に調整されます。

## コピーレイアウト

ScanGear Toolbox FAUのコピー機能では、印刷サイズを選択したり、用紙にどのように画像を配列して印刷するかを設定することができます。

コピーの設定タブ ( P. 27 ) で「簡易スキャン」をオンにして、コピーレイアウトの設定をしてください。

### 用紙サイズ

印刷に使用する用紙の大きさを次から選択します。

A4、A5、B5、レター、ステートメント

### 印刷サイズ

印刷面の大きさを次から選択します。

L、LL、キャビネ、8切り、用紙に合わせる  
このときの実際の印刷面の大きさは次のとおりです。

印刷サイズ	幅 ×高さ(mm)
L	89 ×130
LL	130 ×190
キャビネ	130 ×180
8切り	165 ×216



## レイアウト

1枚の用紙に画像を何枚並べて印刷するかを設定します。印刷サイズ、用紙サイズにより、次の設定ができます。

用紙サイズ	印刷サイズ			
	L	LL	キャビネ	8切り
A4	4	2	2	1
A5	2	1	1	不可
B5	2	1	1	1
レター	4	2	2	1
ステートメント	2	1	1	不可

# 索引

## 【アルファベット】

Fax 送信の設定タブ .....	21
MAPI.....	18
OCR アプリケーション .....	25

## 【日本語】

アンインストール(削除).....	7
インストール.....	6
カスタム 1 ~ 3 の設定タブ.....	25、29
簡易スキャン .....	31
環境設定タブ .....	26、30
起動 .....	9、14
コピーレイアウト .....	40
コピーの設定タブ .....	23、27
終了 .....	17
ショートカットボタンの利用 .....	16
進行状況ダイアログ .....	32
スキャナとカメラのアイコン .....	35

スタートボタンの設定 .....	35
設定ウィザードの利用 .....	10
設定項目 / 内容の一覧 .....	37、39
タブ設定 .....	20
ツールバー .....	15
動作環境 .....	5
保存の設定タブ .....	24、28
マニュアルでの起動 .....	14
メール送信の設定タブ .....	22
リンクできるドライバとアプリケーション..	18
ワンタッチスキャン .....	33



I-OJ-023A

Copyright © 2000 CANON INC.

All Rights Reserved

